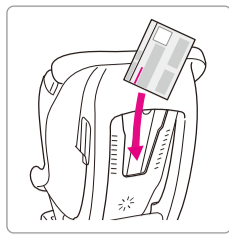


はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用の前には必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。  
チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。  
また、本書は取付け後も大切に保管し、必要に応じてお読みください。



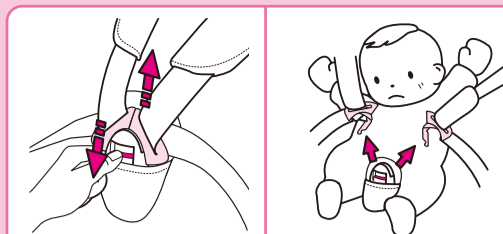
ベルト固定式チャイルドシート  
型式/TYPE : LYJ-211  
UN No.44/04 GROUP 0+, I  
UNIVERSAL

リーマン株式会社  
〒496-0911 愛知県愛西市西保町南川原68-1  
お客様相談室 TEL. (0567) 27-0173  
受付時間 月曜日～金曜日 (祝日・弊社指定休日は除きます)  
AM10:00-12:00 PM1:00-5:00

12211-10321-B

※製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら当社お客様相談室へご連絡ください。 ※製品の性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。

緊急時には・・・衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。



バックルの赤いボタンを押し、タングをはずします。  
幼児ベルトをお子さまからははずし、お子さまを救出してください。



バックルの赤いボタンを押しても、タングがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

クイックガイド/目次

本製品の扱い方を △ → ○ → □ → ◇ の順で表示しております。

事前準備

- 適合の確認
- 各部名称
- 作業スペースの確保
- 取付け向きの確認
- ご使用上の警告/注意

お車に取付ける

- | 後向きで取付ける      | 前向きで取付ける      |
|---------------|---------------|
| 1 車両座席に後向きで置く | 6 車両座席に前向きで置く |
| 2 ベルトを通す      | 7 ベルトを通す      |
| 3 ベルトをしめつける   | 8 ベルトをしめつける   |
| 4 角度を合わせる     | 9 取付けを確認する    |
| 5 取付けを確認する    |               |

お子さまの乗せ降ろし

- 乗せる準備をする
- お子さまを座らせる
- お子さまを拘束する
- 拘束ポイントを確認する
- お子さまを降ろす

メンテナンス

- カバーを取外す
- カバーを取付ける
- 洗濯と日常のお手入れ
- 保管/廃棄の仕方

表示マーク

この取扱説明書では、安全にご使用いただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

- 警告** 記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 注意** 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
- 禁止** 図示されている内容の禁止を示しています。

**確認** 安全のため、必ず確認していただきたいこと。

**アドバイス** より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。

事前準備

1 適合の確認

シートベルトの種類と使用上の注意

- 本装置は、UN規則No.44の04改訂シリーズに基づいて認可されています。
- 本装置は、認可された車両がUN規則No.16または同等の基準で認可された3点式/巻取り装置なし/巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合のみ適しています。
- 疑問があるときは、当社お客様相談室、またはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 車両には、各種のシートベルトが装備されています。それぞれの特徴も違い、取付け方法も変わってきます。チャイルドシートを正しく安全に使用するために、お客さまの車両(シートベルト)に合った取付け方で装着してください。

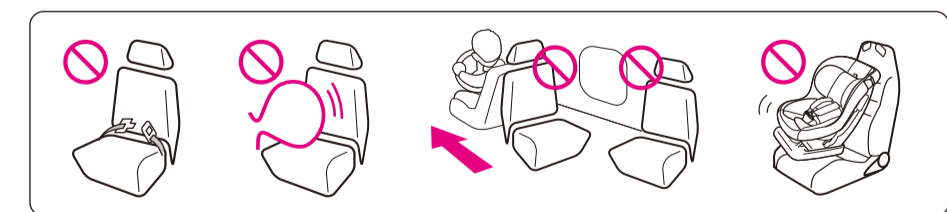
	巻取り装置有り						バッド	巻取り装置無し
	ELR		ALR		NLR			
	肩側	腰側	肩側	腰側	肩側	腰側		
3点式	○	×	○	○	○	○	×	○

●取付け可能な3点式シートベルト

	特徴	本装置の取付け注意点	取付け可能
ELR 緊急ロック式 ベルト巻取り装置	ゆっくりと引くと自由に入り出し、勢いよく引くとロックします。	肩側の車両シートベルトをベルトストッパーでしっかりと固定してください。	○
AELR チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻取り装置	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなります。(シートベルトを全て巻き戻すと解除されます。)	チャイルドシートをベルトストッパーでしっかりと固定してから、シートベルトを全部引き出し、ALR機能に切り換えてください。 取付けの際は、装着車両の取扱説明書もご確認ください。	○
ALR 自動ロック式 ベルト巻取り装置	ベルトを引き出す途中で手を止めると自動的にベルトがロックされ、それ以上引き出させません。	チャイルドシートを固定するのに必要なだけの長さを一気に引き出してから、チャイルドシートをベルトストッパーでしっかりと固定してください。	○
NLR	ロック機構がなく、ベルトを全量引き出した状態で長さを調節します。	巻取り装置から全量引き出し、チャイルドシートの取付けにあわせてシートベルトの長さを調節し固定します。	○
バッド シートベルト	座席に座ってドアを開けると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。	使用できません。	×
その他の シートベルト	表記されていないものすべて。	使用できません。	×

取付けできない座席

- シートベルトの付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- 座面の奥行きが43cm以下の座席。
- シートベルトのバックルが座面の中央寄りに付いている座席。
- 車両/バックルの位置が高く、チャイルドシートを固定できない座席。
- エアバッグが装備されている座席。(サイドエアバッグのみの場合は使用できます。)
- 助手席には取付けしないでください。
- 3点式シートベルトで上下取付け部が共に巻取り式の座席。
- バッドシートベルトのついた座席。(上記参照)
- 車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。(衝突の際にショックを吸収できません。)
- チャイルドシートを取付けた際に、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。(万一のとき乗員の安全が確保できません。)
- 極端なバケットタイプなどの座席。(取付けたチャイルドシートが安定しません。)
- チャイルドシートを改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しないでください。
- 座席の凹凸が極端で、取付けたときに不安定になる座席。
- その他、チャイルドシートを固定できない座席。



5 ご使用上の警告/注意

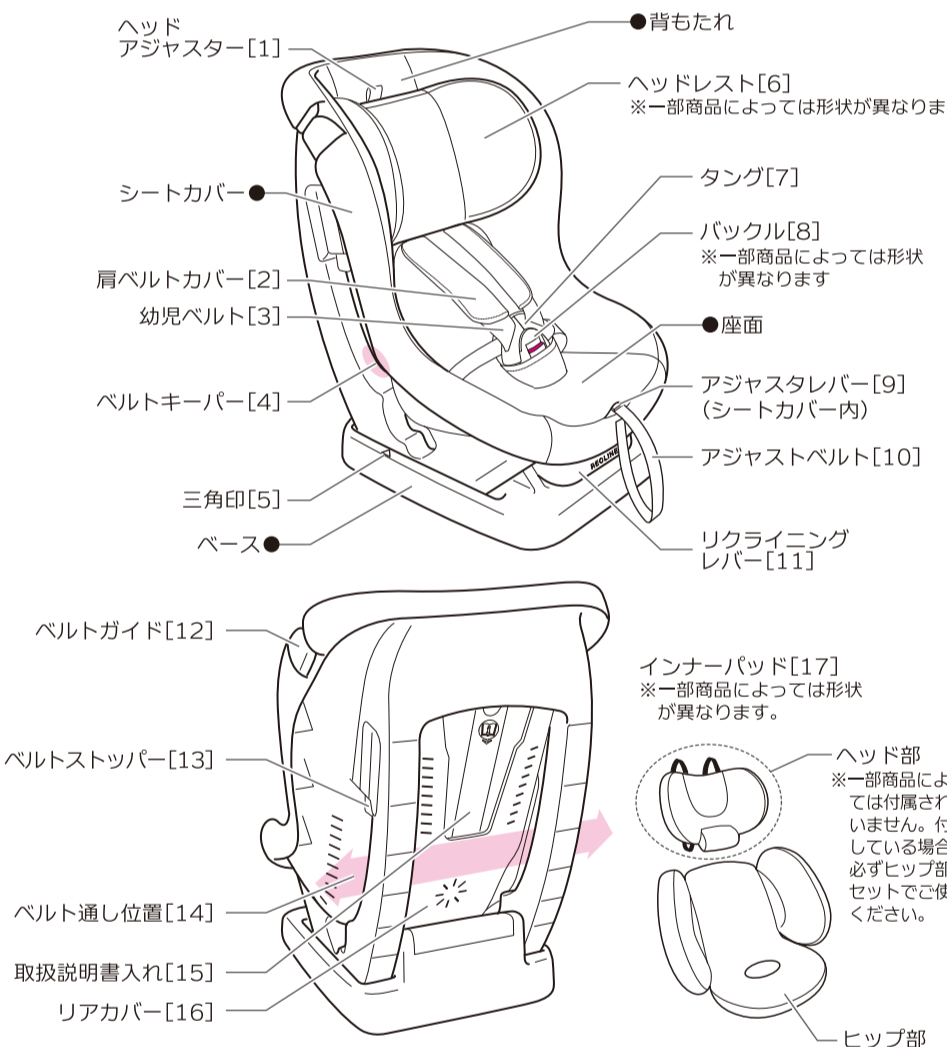
記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- チャイルドシートは取扱説明書どおりに固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。
- 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。
- チャイルドシートのバックルをはずしたままでのご使用は危険ですので絶対におやめください。
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けしないでください。
- お子さまが、バックルの赤いボタンを押さないように注意してください。ときどきタングがバックルからはずれていないことを確認してください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。
- チャイルドシートを保管する際には、強い衝撃を与えたり、屋外など日光が当たる場所に長期放置しないでください。
- お子さまが乗っていない場合、チャイルドシートはトランクに収納しておくか、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。
- シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。)
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま取付けしないでください。しっかりと固定できません。
- お子さまを車内にひとり放置することは絶対におやめください。
- 保護者が各部分に触れて、やけどしないことを確認の上、お子さまを乗せてください。
- 運転中にチャイルドシートの操作(ベルト調節などの操作)をしないでください。
- 新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をはなさないでください。
- お子さまの負担を考え1時間以上連続して使用しないでください。
- エアバッグが装備されている座席には使用しないでください。作動したエアバッグにより、大きな衝撃を受け危険です。

2 各部名称

ご使用前に、各部分がそろっていることをお確かめください。

※使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。また、製品性能向上のため予告なく仕様変更することがあります。



付属品



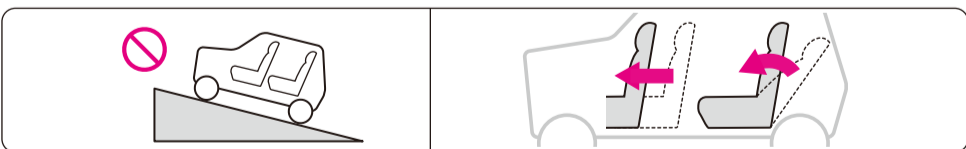
- 取扱説明書(保証書付)
- チャイルドシート保険兼お客様登録ハガキ
- ブライバシーシール

※お客様登録ハガキが付属している商品はチャイルドシート保険が付帯しております。ご購入後、必ず必要事項をご記入の上、返函してください。

3 作業スペースの確保

安全に取付け作業を行うため、次のように作業スペースを確保してください。

- 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所で行ってください。
- 車内の作業スペースを確保するため、前座席を前に倒したり、できるだけ前にスライドさせてから取付けてください。
- 車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

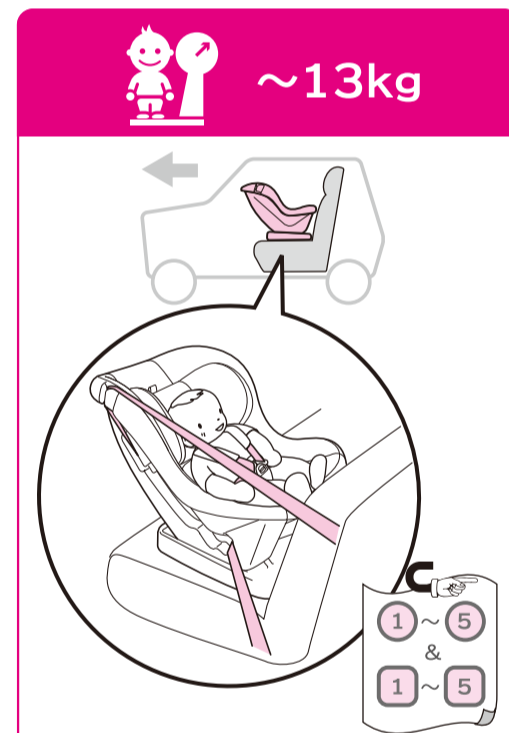


4 取付け向きの確認

お子さまの体重に合わせ、「後向き」と「前向き」の2つの取付け向きで使用します。

- 体重が13kg未満のお子さまには「後向き取付け」でご使用いただけます。  
※身長のみやす：～80cm  
※年齢のみやす：新生児～1才半頃
- 体重が9kg以上18kg以下のお子さまには「前向き取付け」でご使用いただけます。  
※身長のみやす：70～105cm  
※年齢のみやす：9ヶ月～4才頃

○ お子さまの体重が9kg～13kgの場合は「後向き」と「前向き」のどちらでもご使用いただけます。後向きを推奨しますが、お子さまが嫌がるなど、正しく着座できない場合は、前向きでご使用ください。



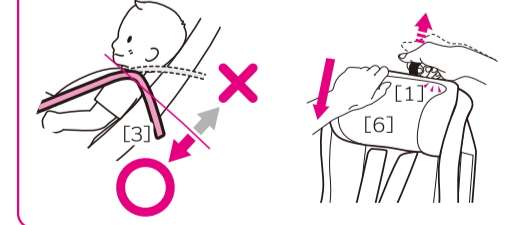
お子さまに合わせて調整する

1 インナーパッドの取付け  
7kg以下の乳児(6か月ごろまで)は[17:インナーパッド]をセットする。



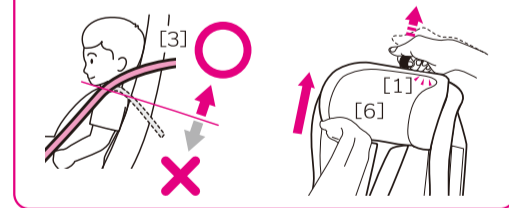
2 幼児ベルトの高さ調節

本紙裏面を参考に[3:幼児ベルト]の長さに余裕を持たせてから、[1:ヘッドアジャスタ]を引いた状態を保ったまま、お子さまの肩と同じ高さか、やや高めから[3:幼児ベルト]が出る位置になるように[6:ヘッドレスト]高さを調節します。



お子さまに合わせて調整する

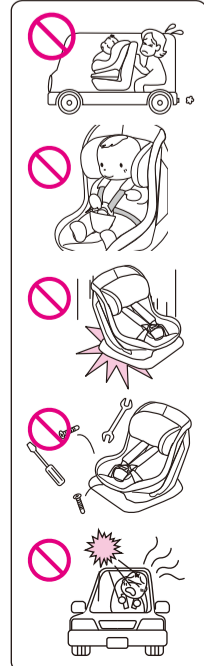
本紙裏面を参考に[3:幼児ベルト]の長さに余裕を持たせてから、[1:ヘッドアジャスタ]を引いた状態を保ったまま、お子さまの肩と同じ高さか、やや高めから[3:幼児ベルト]が出る位置になるように[6:ヘッドレスト]高さを調節します。



- お子さまの体重が9kgを超えるまでは前向きで使用しないこと。
- 「身長のみやす」や「年齢のみやす」は、あくまでも目安です。もし身長や年齢が上記条件を満たしている場合でも、「体重条件」を満たしていないお子さまは、その取付け向きではご使用できません。
- お子さまを座らせたとき、後頭部がヘッドレストの上から出ないこと。

記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

- お子さまを乗せる際には、チャイルドシートの取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態で行ってください。)
- チャイルドシートにお子さまを乗せたまま車両への取付け・取りはずしはしないでください。
- お子さまの乗り降りの際など、チャイルドシートの端に体重をかけると、転倒してケガなどを生ずるおそれがあります。
- お子さまがチャイルドシートの上で立ち上がった時、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具はしないでください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- 車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。チャイルドシートと車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、ご使用ください。
- 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)がはさまれないようにチャイルドシートを取付けてください。
- チャイルドシートのベルトを鋭利なもので傷つけないようにご注意ください。
- チャイルドシートは車両以外での使用をおやめください。
- チャイルドシートを取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書を併せてお読みください。



## 後向きで取付ける

イラストは後部左座席での取付けを説明しています。

詳しい取付け方を動画で確認できます▶▶



### 1 車両座席に後向きで置く

本紙裏面を参考に取付け向きを確認する。

[11: リクライニングレバー] を上げてロックを解除し、[5: 三角印] と[R] を合わせる。

チャイルドシートを車両座席の背もたれと座面に接するように、後向きで置く。

⚠ リクライニングが倒れている場合は、車両座席を起してしてください。

### 2 ベルトを通す

車両シートベルトを引き出し、車両タンクプレートを本体背面にある [14: ベルト通し位置] に通す。  
車両タンクプレートを車両バックルに『カチツ』と音がするまで差し込む。

⚠ 車両シートベルトがねじれないように注意してください。

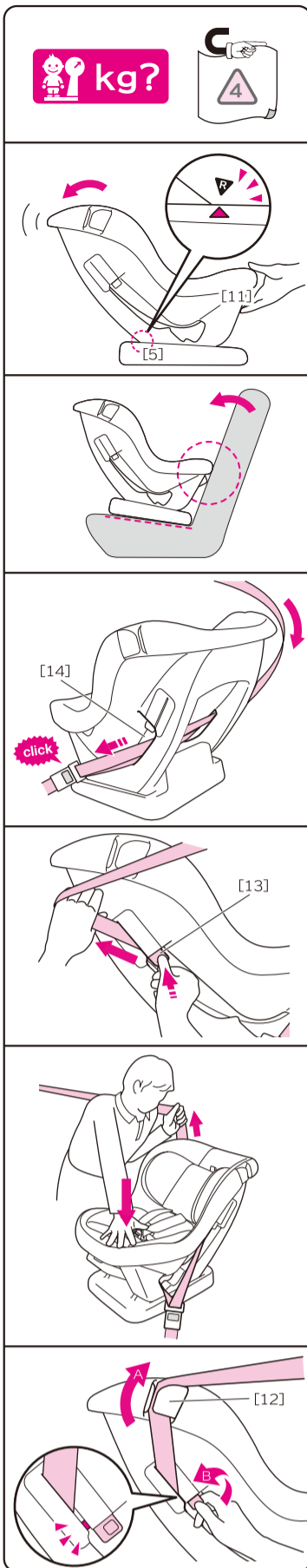
車両バックルと反対側の [13: ベルトストッパー] を押し、肩側の車両シートベルトをささむ。

### 3 ベルトをしめつける

チャイルドシートの上から体重をかけながら、車両シートベルトを強く引く。

A. 車両シートベルトを [12: ベルトガイド] に引っかける。  
B. ベルトストッパーをもどし、車両シートベルトをしめつける。

⚠ 一番下に抜け止めがあるため、車両シートベルトは上の方にはさんでください。



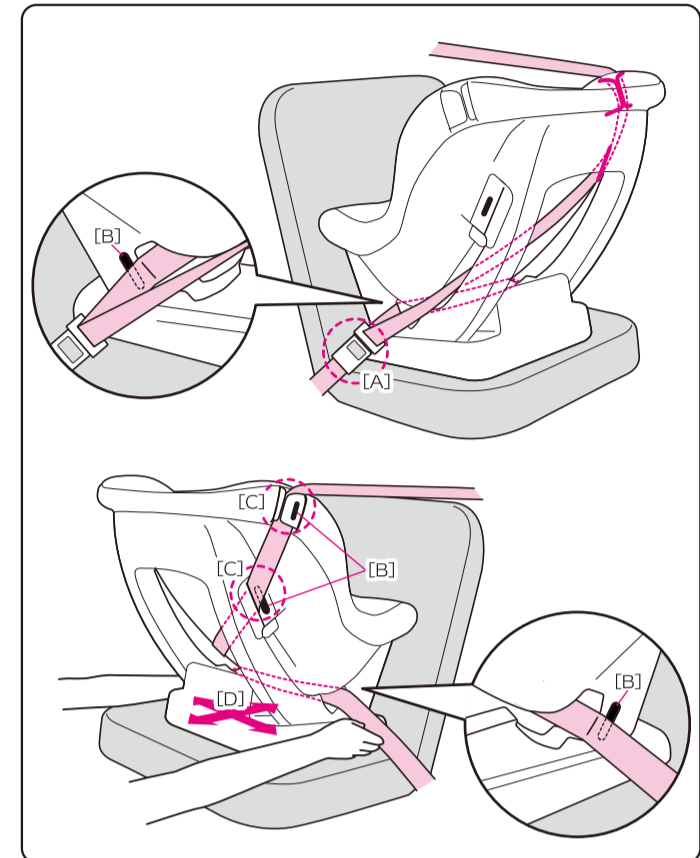
### 4 角度を合わせる

本紙を折りたたみ、表紙裏面の角度チェッカーをベースに置いて、地面との垂直ライン(点線)がピンクのラインの範囲内になるようにする。範囲外の場合はタオルなどをチャイルドシートの下に入れて調整する。

### 5 取付けを確認する

A. 車両タンクプレートと車両バックルが確実に接続されていること。  
B. 車両シートベルトが青いシール部分を通して、ねじれやたるみがないこと。  
C. 車両シートベルトがベルトガイドとベルトストッパーに確実に掛かっていること。  
D. チャイルドシートのベースを前後左右にゆすり 3cm 以上動かないこと。

⚠ A~D を確認して、しっかり取付けられていない場合は、再度取付けをやり直してください。



⚠ 車両バックルがチャイルドシート本体にあたってバックル根元のベルトにゆるみがあると、しっかり固定されず危険です。その状態では使用できません。不明な点は当社のお客様相談室へお問い合わせください。



## 前向きで取付ける

イラストは後部左座席での取付けを説明しています。

詳しい取付け方を動画で確認できます▶▶



### 6 車両座席に前向きで置く

本紙裏面を参考に取付け向きを確認する。

チャイルドシートを前向きで置く。  
リクライニングレバーを上げてロックを解除し、車両座席の背もたれとチャイルドシートの背もたれが接するように、三角印と [1] [2] [3] のいずれかを合わせる。

車両ヘッドレストが干渉する場合は上げるか、取りはずしてください。

⚠ リクライニングが倒れている場合は、車両座席を起してしてください。

### 7 ベルトを通す

車両シートベルトを引き出し、車両タンクプレートを本体背面にあるベルト通し位置に通す。  
車両タンクプレートを車両バックルに『カチツ』と音がするまで差し込む。

⚠ 車両シートベルトがねじれないように注意してください。

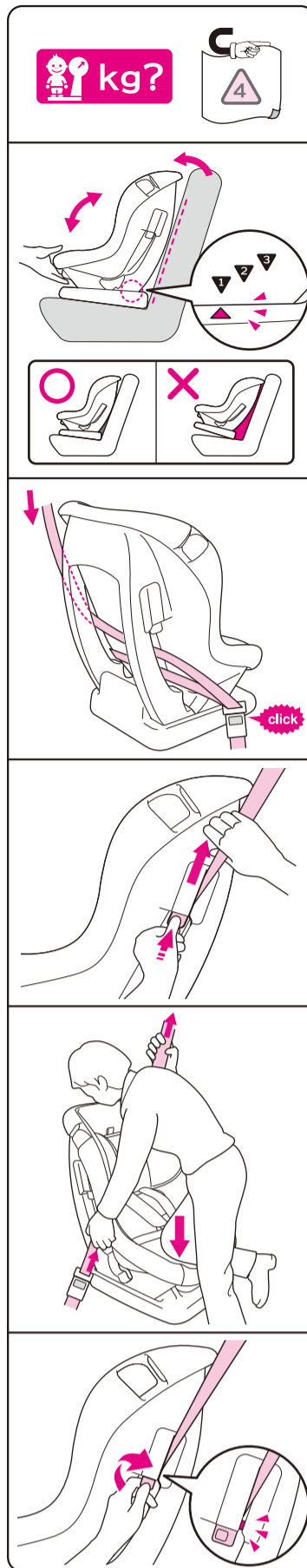
車両バックルと反対側のベルトストッパーを押し、肩側の車両シートベルトをささむ。

### 8 ベルトをしめつける

チャイルドシートの座面の上から体重をかけ、チャイルドシートを車両座席に沈み込ませながら、車両シートベルトを強く引く。

⚠ ベルトストッパーをもどし、車両シートベルトをしめつける。

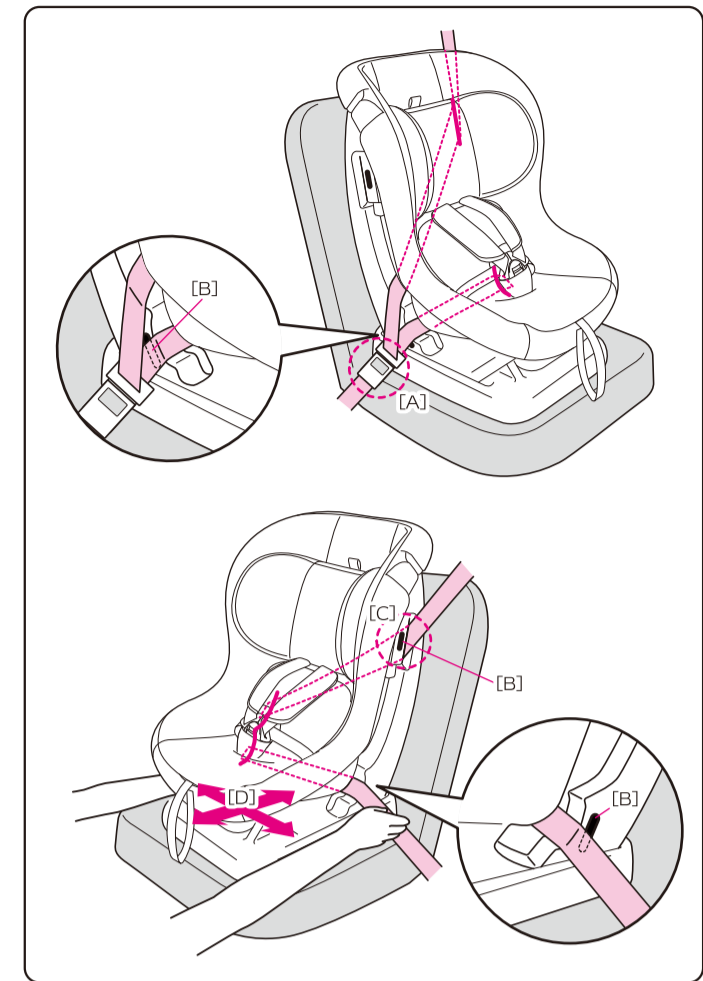
⚠ 一番下に抜け止めがあるため、車両ベルトは上の方にはさんでください。



### 9 取付けを確認する

A. 車両タンクプレートと車両バックルが確実に接続されていること。  
B. 車両シートベルトが青いシール部分を通して、ねじれやたるみがないこと。  
C. 車両シートベルトがベルトストッパーに確実に掛かっていること。  
D. チャイルドシートのベースを前後左右にゆすり 3cm 以上動かないこと。

⚠ A~D を確認して、しっかり取付けられていない場合は、再度取付けをやり直してください。



⚠ 車両バックルがチャイルドシート本体にあたってバックル根元のベルトにゆるみがあると、しっかり固定されず危険です。その状態では使用できません。不明な点は当社のお客様相談室へお問い合わせください。

## お子さまの乗せ降ろし

### 1 乗せる準備をする

本紙裏面を参考に取付け向きを確認し、お子さまにあわせて着座スペースを調整する。

後向き取付けの場合、お子さまを乗せ降ろししやすいように、[4: ベルトキーパー] に車両ベルトを一時的に引っかける。

⚠ ● 長さの短い車両シートベルトや、チャイルドシート固定機能付シートベルト、NLR付車両シートベルトでは使用できません。  
● 車両ベルトのアンカー位置によっても使用できない場合があります。  
● お子さまの乗せ降ろし後は必ず車両シートベルトをベルトキーパーからはさずしてください。

A. [9: アジャスタレバー] を引き上げながら、B. 左右両方 (2本) の [3: 幼児ベルト] を同時に手前に引き出す。

⚠ [2: 肩ベルトカバー] ではなく、幼児ベルトを引いてください。

C. [8: バックル] の赤いボタンを押して [7: タング] をはずす。

D. 幼児ベルトを左右に開いてお子さまの座るスペースを確保する。

⚠ 夏場などは金属部が熱くなりやすいのでやけどに注意してください。

### 2 お子さまを座らせる

バックルがお子さまの股の間に収まるようにして、お子さまをシートの奥深くに座らせる。

⚠ ● おしりとクッションの間に隙間が出来ないように深く座らせて下さい。  
● インナーパッドのヘッド部を使用する際は凸部がお子さまの首に合うように (後頭部に当たらないように) 位置を調整してください。  
インナーパッドのベルトにフックのある場合は、必ずフックを留めて使用してください。

### 3 お子さまを拘束する

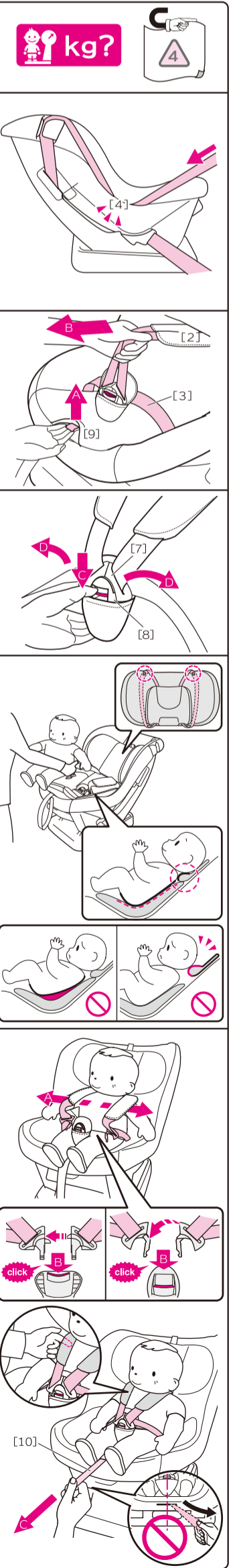
A. お子さまの腕を幼児ベルトに通す。  
B. 左右のタングを重ね合わせて、『カチツ』と音がするまでバックルに差し込む。

⚠ 一部商品によってはバックルとタングの形状が異なります。

C. 幼児ベルトをお子さまの肩の中央と腰骨のできるだけ低い位置にかけ、[10: アジャストベルト] をまっすぐ手前に引き、左右の幼児ベルトのたるみをなくし、お子さまに密着させる。

⚠ アジャストベルトを斜めに引くとベルトを傷め、お子さまをしっかり拘束できなくなる可能性があります。

⚠ 幼児ベルトの調節のめやすとしては、お子さまの鎖骨と肩ベルトの間に指一本入る程度が適切です。ゆるかったり、きつかったりするときは、幼児ベルトの長さを調節してください。



### 4 拘束ポイントを確認する

A. 幼児ベルトを引っ張って、バックルと幼児ベルトがゆるまないか確認する。  
B. 幼児ベルトがねじれたりせずに、お子さまの肩の中央と腰骨のできるだけ低い位置を通して確認する。

⚠ ● お子さまは必ず正しく拘束してください。正しく拘束していないと衝突時などに重大な傷害を負う可能性があります。  
● バックルに異物が詰まったり、飲み物がかかると、ロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。  
● お子さまの着席のたびに、必ずアジャストベルトを引き、お子さまを拘束してください。  
● かさばる服を着た状態で、チャイルドシートに座らせないでください。  
● 幼児ベルトをはずして結ぶなど、本紙に記載のないやり方でお子さまを拘束しないでください。

### 5 お子さまを降ろす

A. アジャスタレバーを引き上げながら、左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。

⚠ このとき、肩ベルトカバーを引かないように注意してください。

B. バックルの赤いボタンを押してタングをはずす。

C. 幼児ベルトを左右に開く。

D. お子さまの腕を幼児ベルトからはさず、お子さまをチャイルドシートから降ろす。

⚠ 緊急時にバックルの赤いボタンを押しても、タングがはずれない場合はベルトを切断してお子さまを救出してください。

### うまくいかない時は…

● **バックルの赤いボタンが固くて押せない。**  
→ お子さまが誤って解除しないように固く設定してあります。片手で操作が出来ない場合は両手で押し込んでください。

● **幼児ベルトが短い。**  
→ チャイルドシートをしっかりと引き出しきれていない可能性があります。アジャスタレバーを引き上げてベルトを引き出してください。

● **バックルのタングがはまらない。**  
→ タングは左右別々の状態では差し込めません。左右のタングを重ねて (合わせて) からバックルに差し込んでください。裏表に注意してください。

## メンテナンス

### 1 カバーを取外す

A. [6: ヘッドレスト] のカバーとシートカバーをそれぞれ留めているゴムやフックをはずす。

⚠ ● 最初の留め位置を覚えておいてください。商品により、留め方が異なります。  
● インナーパッドのヘッド部が付属している場合は、ベルトを片方ずつはずしてください。  
※一部商品によっては取りはずし方が異なるものがあります。

B. バックルのタングをはずし、インナーパッドをはずす。シートカバーは外側からめくるようにはずし、ヘッドレストのカバーは上へ引き抜く。  
※シートカバーの下にクッション類があります。

C. [16: リアカバー] の上部にある凹みに指を掛け手前に引くようにはずす。

D. 正面からアジャスタレバーを引き上げながら金属のフックを引き出す。

E. 幼児ベルトを金属のフックからはずす。

F. タングをバックルに差し込んでから、幼児ベルトを引き抜き、肩ベルトカバーからはずす。

⚠ カバー類は必ず取付けて使用してください。

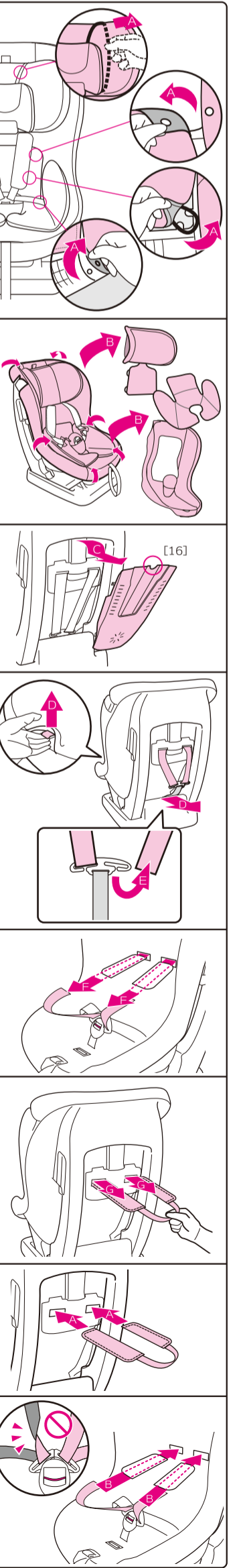
### 2 カバーを取付ける

⚠ 専用カバー以外は使用しないでください。

A. チャイルドシート背面から肩ベルトカバーを差し込み、前面に出す。  
⚠ 取付けの際には、滑り止め面を下にしてください。

B. 幼児ベルトを肩ベルトカバーに通し、チャイルドシート背面に出す。

⚠ ベルトがねじれないように通してください。



C. 金属のフックに幼児ベルトをかけ、正面からアジャストベルトを引く。

⚠ ベルトがねじれないようにはさんでください。

D. 下の爪を片方差し込み、リアカバーをたわませて、もう片方の下の爪を差し込む。次に上2カ所の爪を片方ずつ差し込む。

⚠ リアカバーは必ず取付けてご使用ください。

E. ヘッドレストのカバー、シートカバー、インナーパッドの順で、ゴムやフックを元の位置に留めて取付ける。

⚠ ● ベルトガイドの部分に折れやシワがないようにシートカバーを取付けてください。  
● インナーパッドのヘッド部が付属している場合は、必ずフックを留めて使用してください。

### 3 洗濯と日常のお手入れ

#### シートカバーなどの縫製品の洗い方

- ☑ 中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗ってください。
- ☒ 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- ☒ 洗濯後は、脱水機、乾燥機はかけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。
- ☒ アイロン掛けはしないでください。
- ☒ ドライクリーニングはしないでください。

#### 日常のお手入れ方法

- 取りはずしできるクッション類は取りはずしてから洗濯してください。(一部商品によっては無いものがあります。)
- 樹脂部やクッション類は水で濡らして固く絞ったタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
- 掃除機などで、ほこりやこみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 部品のお取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

⚠ 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体、表面の生地、ベルト類をいためるおそれがあります。

### 4 保管/廃棄の仕方

**保管**  
● 製品本体を長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。

**廃棄**  
● お住まいの各自自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。  
● 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

**製品仕様**  
製品サイズ W445×D540×H625mm  
材質 本体…PP、ウレタン  
シートカバー…表/ポリエステル 裏/ウレタン